



学校だより

令和2年 6月11日

6月号②

めざす子ども像
ともに学び、よりよい生き方を見つけ出すしろさとっ子

横浜市立城郷小学校

がっこうさいかい しゅうかん 学校再開から2週間

校長 巴 幹晴

3月の臨時休業開始とともに、各ご家庭には、毎朝の健康観察と検温の実施、「健康観察票」への記入による体調の管理をお願いしてきました。子どもたちをふくめ、ご家庭での毎朝の習慣となったでしょうか。

6月1日に学校が再開してから第一期の2週間が終わります。この間、段階的な分散登校にご協力くださり、ありがとうございました。

低学年においては、短時間でも毎日登校することで学校生活の基礎的習慣を少人数体制で身につけることをめざしてきました。朝の支度や帰りの支度、授業中の約束など、だいぶ慣れてきたように見えます。また、校舎内外の印を意識して並ぶことを繰り返し、子どもたちは自然と人と人との間隔をあけて移動できるようになってきました。

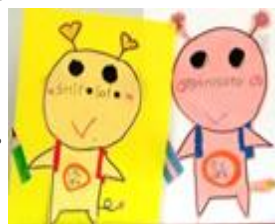
中高学年においては、隔日での半日程度のまとまった時間を少人数で過ごしながらか、学習活動と新しい行動様式を身につけることをめざしてきました。少人数で教室全体が落ち着いた雰囲気の中、発言のルールや聞く姿勢、友達との関係づくりが進められています。学級の全員がそろっても、子どもたちがこの落ち着いた状況を心地よさと感じて継続することで、学習活動、学級活動が楽しく充実したものになると期待しています。

また、これまで以上に一人一人が衛生面を意識して生活するために、活動の前後に手を洗うよう声をかけています。水飲み場やトイレなどでも並ぶ場所や方向を守って、静かに順番待ちをすることができています。洗い方も上手になり、短時間でいいねいに洗えるようになってきました。自分と、ともに生活する人たちのために、さらに手洗いの腕を上げたいところです。活動の前後にしっかりと手を洗う習慣が身につけば、やがて複合遊具や鉄棒などを利用した学習も可能になると考えています。

来週からは第二期、全校児童が毎日午前授業で学校生活を送ります。

私たちは「新型コロナウイルス」を正しく恐れながら、新しい行動様式を身につけ、日常をとり戻すことをめざしています。健康な子どもたちが登校してきているものとして、学習活動を計画していきますので、これからも毎朝の健康観察を継続していただき、少しでも体調に不安を感じたときは無理をせず、登校を見合わせていただくよう、ご協力をお願いいたします。

いちよぼん



さくぼん

しろさとげろいちにいぜろ
城郷0120

城郷小学校ホームページアドレス：<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirosato/>